

安宅和人



慶應義塾大学 環境情報学部教授
Zホールディングス株式会社 シニアストラテジスト

マッキンゼーを経て、2008年からヤフー。前職ではマーケティング研究グループのアジア太平洋地域中心メンバーの一人として幅広い商品・事業開発、ブランド再生に関わる。2012年よりCSO、2022年よりZホールディングスシニアストラテジスト。全社横断的な戦略課題の解決、事業開発に加え、途中データ及び研究開発部門も統括。

2016年より慶應義塾SFCで教え、2018年秋より現職。総合科学技術イノベーション会議(CSTI)専門委員、内閣府デジタル防災未来構想チーム座長、教育未来創造会議委員、新AI戦略検討会議委員ほか公職多数。データサイエンティスト協会理事・スキル定義委員長。一般社団法人 残すに値する未来 代表。イエール大学脳神経科学 PhD。著書に『イシューからはじめよ』(英治出版)、『シン・ニホン』(NewsPicks) ほか。

様々なサイバーリスクにさらされる一方、全くデータやファクトに基づいて状況を判断しきれない社会の状況が続いています。このような時代におけるリテラシーとはなにか、また、人間の磨くべき知性とはなにかなどについて考察したいと思います。

※タイトル・内容等は変更になる可能性があります。

時代と知性を考える

11月16日

16:30~18:00(水)

講師：安宅 和人 (環境情報学部教授)
場所：日吉キャンパス来往舎1階シンポジウムスペース
対象：塾生・教職員
※無料/事前登録
※申込者多数の場合は塾生を優先します。
問い合わせ：toiwase-lib@adst.keio.ac.jp

事前申込制

下記URLまたはQRコードからお申し込みください

<https://bit.ly/3zbl3pE>

受付開始：10月27日(木)午前10時~
※申込先着順で定員になり次第締め切ります。

対象：塾生・教職員

※無料/事前登録
※申込者多数の場合は、塾生を優先します。

